

第3回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	平成 29 年 7 月 6 日 (木) 17:00 ~ 18:30
場 所	都庁第一本庁舎 42 階北塔 特別会議室 B
出席者	委員) 鶴川委員、大崎委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局) 浅川局長、中澤管理部長、木島総務課長、村本公金管理課長、山下資金運用担当課長、信田課長代理、春日井課長代理、佐藤課長代理、横堀主任、矢島主任、有井主任、吉武 計 12 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の決算を踏まえた預金についての対応 2. 外国銀行の決算等を踏まえた預金についての対応
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第3回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、個々の金融機関等の個別情報などを取り扱うことから、公開とすると、金融機関等の正常な経済活動が阻害されるおそれや、予期せぬ風評や影響を誘発する可能性があるとの認められる。こうした場合、会議の公開もしくは非公開について、会議の開催前に委員全員の意見を聞くこととなっている。 委員 全員が非公開にすべきとの意見を表明。 この結果、本日の会議は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題1「邦銀の決算を踏まえた預金についての対応」について 事務局 預金先金融機関(邦銀)の経営状況について、決算を踏まえ、健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関(邦銀)の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関(邦銀)の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとの発言があった。 委員 経営評価基準をより精緻化したことで評価の精度が上がり、これまで以上に違和感のない内容になっているとの発言があった。 委員 安全性の高い金融機関をスクリーニングし、積極的に預金先の新規拡充に取り組むことは、預金分散の観点から必要であり、引き続き精力的に進めるべきとの発言があった。 事務局 今後も預金先の新規拡充に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えている。 委員 経営評価方法について、今後の自己資本規制の動向を踏まえた対応を検討していくことは必要との発言があった。 事務局 引き続き情報を収集し、適正な評価が出来るよう、対応を検討していく。</p>

(4) 議題2「外国銀行の決算等を踏まえた預金についての対応」について

事務局 預金先金融機関（外国銀行）の経営状況について、決算を踏まえ、健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外国銀行）の評価等を報告した。

委員 預金先金融機関（外国銀行）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとの発言があった。

委員 外国銀行は、邦銀に比べて、詳細な情報が取りづらい面があるため、注意深く経営評価をすべきとの発言があった。

以上